



小金井 2021.12/1 No.524 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市本町2-15-11 TEL042-383-1184
メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

起きます！起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！僕・私。
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

長引くコロナ禍での生活 文化の融合を体験し、日々の生活に明るさを

コロナウィルス感染者数が増加と減少を繰り返し、コロナ禍はなかなか終息に向かわずにいます。できることが限られ、気分もふさがちに。

そこで、公民館貫井北分館では、市民講座で朗読と季節の室礼、朗読とピアノ演奏を融合させた講座を開催し、学びと楽しさの体験を目指すこととしました。

—朗読の魅力—

普段、私たちは起きている間はずっと目を開けてものを捉えていますし、情報の90パーセントは視覚から得ていると言われています。

最近、視覚や映像で楽しむ娯楽もますます多くなってきました。そんななかで、朗読は、耳から入ってくる言葉だけで、頭の中に映像を浮かばせて物語の世界を楽しむ、まったく違った面白さがあり、普段得ることのできない新鮮な感覚です。想像力を楽しむ娯楽とっていいでしょう。

自分で創り上げた映像世界は親しみやすいですし、感情移入もしやすい。その分、感動がいつまでも心に残るのではないのでしょうか。

登場人物の喜怒哀楽に共鳴して応援する気持ちになったり、時には泣いたり笑ったりと、物語を自由に味わって、朗読で心豊かな時間を過ごしてほしいです。
(武蔵野朗読会主宰 長谷川葉月さん)

市民講座

「泣いた赤鬼」と 節分の室礼を楽しむ」

「室礼」とは、古くから続く年中行事にちなんだ飾りのことです。家族代々で大切に継承されている日本の伝統文化といえます。家族でこの行事を行うことで、コミュニケーションが生まれました。よく知られているものに、お正月の鏡餅や桃の節句の雛飾りがあります。

今回の講座では『泣いた赤鬼』の朗読と、節分の室礼を楽しみます。春の節分の意味を知り、無病息災を願います。日本の伝統文化を体験できるので、親子での参加もおすすめです。

と き 1月23日(日)
午後2時～4時

ところ 公民館貫井北分館北町ホール
講 師 朗読:長谷川葉月さん(朗読家)
室礼:枝川寿子さん(室礼研究家)

対 象 市内在住・在勤・在学の方

定 員 14人(申込順) 参加費 500円(材料費)

申 込 12月15日(水)午前9時から電話、または
公民館貫井北分館窓口
(☎042-385-3401)へ。



市民講座

「北欧の物語と ピアノ演奏を楽しむ」

18世紀にはピアノの前身であるクラヴィコードとハープシコードが主流でしたが、1709年にバルトロメオ・クリストフォリによりピアノが発明されました。その後も改良が続けられ、今のピアノになっており、長い年月を通してピアノ文化が根付いていきました。

今回の講座では、北欧の物語の朗読と、それに合わせたピアノ演奏などを楽しみます。幅広い年代の方に興味を持っていただける回になります。

と き 1月30日(日)
午後2時～4時

ところ 公民館貫井北分館北町ホール
講 師 朗読:平川玲子さん(ソプラノ歌手)
朗読:八方久美子さん(ソプラノ歌手)
ピアノ:岩渕静さん(ピアニスト)

対 象 市内在住・在勤・在学の方

定 員 20人(申込順) 参加費 無料

申 込 12月15日(水)午前9時から電話、または
公民館貫井北分館窓口
(☎042-385-3401)へ。



令和4年2月 東センター改修工事 臨時休館のお知らせ

休館期間 令和4年2月7日(月)～2月25日(金)

東センター階段に設置されているステップリフトの改修工事を行うため、東センターは臨時休館となります。ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。 問合せ先 公民館本館(☎042-383-1184)

市民講座 「親子で楽しむクリスマスツリーとオーナメントを作ろう」 本館

フェルトを使用して、親子でオリジナルのクリスマスツリーとオーナメントを作ってみませんか。
～ちょこっと針しごとをしてみよう～

とき 12月11日(土) 午前10時～正午

ところ 公民館本館学習室A

講師 佐野幸子さん

対象 市内在住、在学の小学生とその保護者

定員 8組(多数抽選)

参加費 500円(材料代) 持ち物 はさみ

申込 12月6日(月)までに、往復はがき(1家族1枚)に住所、お子様の氏名(学年)と保護者氏名、年齢、電話番号を明記し、公民館本館「親子で楽しむクリスマスツリーとオーナメントを作ろう」係(〒184-0004小金井市本町2-15-11)へ。



成人学校「コミュニケーションから生まれる100文字エッセイ入門～集い・語り・学ぶ～」 東分館

日常の出来事や、自分が感じられたことを思うままに綴るエッセイ。100字なので、初めての方でも気軽に始められます。

回	とき	内容
1	1/17(月)	文章の基礎知識とエッセイの基本構造～人はなぜ、表現するのか?～
2	1/24(月)	気持ちが伝わる表現のテクニック
3	1/31(月)	作品をブラッシュアップするためのポイント

※時間はいずれも午後2時～4時

ところ 公民館東分館集会室A・B

講師 八覚正大さん(作家)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 10人(多数抽選) 参加費 無料

持ち物 筆記用具

申込 12月13日(月)(必着)までに、往復はがきに、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を明記し、公民館東分館「100文字エッセイ」係(〒184-0011東町1-39-1)へ。定員に満たない場合は、12月14日(火)以降、午前9時から電話または公民館東分館窓口で申込順。



市民講座 「方丈記と徒然草を学ぶ」 東分館

中世の随筆『方丈記』『徒然草』には、激動の時代の中、様々な生き方が示されています。それらは混迷、混乱の現代に生きる我々にとっても貴重な指針となります。コロナ後、どう生きべきか、古典にさぐります

回	とき	内容
1	1/14(金)	災害と草庵
2	1/21(金)	鴨長明の苦悩
3	1/28(金)	徒然草の言葉

※時間はいずれも午前10時～正午

ところ 公民館東分館集会室A・B

講師 浅見和彦さん(成蹊大学名誉教授)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 20人(申込順)

参加費 無料

申込 12月16日(木)午前9時から電話、または公民館東分館窓口(☎042-384-4422)へ。

令和4年度 高齢者学級「くりのみ学級」準備会

東分館で開催する高齢者学級「くりのみ学級」の企画について、意見交換を行います。

とき 12月23日(木) 午前10時～11時

ところ 公民館東分館集会室A・B

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 20人(申込順) 参加費 無料

申込 12月2日(木)午前9時から電話、または公民館東分館窓口(☎042-384-4422)へ。

第546回 市民映画会 「ムーミン谷とウィンターワンダーランド」 (2017年ヤコブ・ブロンスキ監督)(86分)

ムーミン谷を舞台に、美しい白銀の世界で起こるクリスマスの心温まる物語を紡ぐパペットアニメーション映画を上映します。

とき 12月18日(土)

①午前10時00分～ ②午後2時00分～

ところ 公民館貫井北分館学習室A・B

入場 無料

当日、直接会場で各回40人(いずれも30分前開場)

問合せ先 公民館本館(電話042-383-1184)

※状況により、開催を中止する場合があります。

令和4年2月 貫井南センター施設改修工事 臨時休館のお知らせ

休館期間 令和4年2月1日(火)～2月28日(月)

受水槽改修工事(給排水管新設工事・赤水解消)を行うため、貫井南センターは臨時休館します。工事の準備は令和4年1月初旬頃から始まることから、館内では、工事作業の音が響く場合もあります。貫井南センター利用の際は、ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。
問合せ先 公民館貫井南分館 (☎042-383-1168)

男女共同参画事業 男女共同参画講座 「パラスポーツと義足の世界」 貫井北分館

2月4日から開催の北京冬期オリンピック・パラリンピックを前に、パラスポーツとそれに欠かせない義足のお話を義肢装具士の白井二美男さんとアスリートから伺います。義足の体験もできます。

と き 1月24日(月)午前10時～正午
と ころ 公民館貫井北分館学習室A・B
講 師 白井二美男さん(義肢装具士)ほか
対 象 市内在住・在勤・在学の方
定 員 18人(申込順) 参加費 無料
保 育 あり(概ね2歳以上5人まで、要事前申込)
申 込 12月15日(水)午前9時から電話、または公民館貫井北分館窓口(☎042-385-3401)へ。

成人教育事業 市民講座 「座談会 認知症の介護がはじまったとき」 貫井北分館

12月テーマは、「怒りっぽくなったけどどうして？」
毎月第3木曜日に開催中。介護に関する困ったことを一人で抱え込まずに、みんなで共有しませんか？

と き 12月16日(木) 午前10時～正午
と ころ 公民館貫井北分館 生活室A・B
対 象 どなたでも
定 員 6人(申込順) 参加費 無料
申 込 12月1日(水)午前9時から電話、または公民館貫井北分館窓口(☎042-385-3401)へ。

成人学校開催報告「小金井のごみ問題と私たちにできること」 実施 9月30日・10月7日・10月14日 本館

環境問題の大きな要因のひとつである、ごみ問題。小金井と世界の現状を知り、私たちにできることを考える講座として3回講座を実施しました。

第1回は小金井市ごみ対策課の職員を講師に、小金井市の「ごみ減量への取り組み」として、市を取り巻く状況、ごみ減量・資源化施策、啓発などについて詳しく聞きました。

第2回は、浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設を訪問し、小金井市の可燃ごみがどのように処理されているか、説明を聞きながら見学しました。

第3回は、環境カウンセラーの崎田裕子さんを講師に、「世界のごみ問題と今私たちにできること」をご講義いただきました。崎田さんは東京2020組織委員会の一員として、2020大会で資源を一切ムダにしないをコンセプトに、調達物品はリユース・リサイクルを追求した準備をしたそうです。講義では、世界の海洋プラスチック問題における3R(リデュース・リユース・リサイクル)の必要性、食品ロスと食料廃棄をどう減らすかなど、日本の状況の説明・世界の具体的な対策や環境省の目標などを聞き、私たちにできることを考えました。

身近でそして世界規模のごみ問題に、皆さん真剣に取り組んだ講座となりました。

●参加者の感想●

- 市の取り組みがかなり工夫されていることがわかり感心しました。
- 改めて自分の生活を見直したい。社会全体で取り組む必要がある。
- 今日のごみ問題、リサイクル、食品ロスの削減等、多くの資料をもとに、基本的な知りたい知識を丁寧に話していただいていたが大変参考になった。

第40回 公民館本館まつり 12月4日(土)・5日(日)

公民館本館を利用されている団体が、日頃の活動の成果を発表する年に一度のおまつりです。

皆さんお誘いあわせのうえ、ぜひお越しください!

とき・内容

- ◆12月4日(土)午前10時～午後4時
・展示…絵画、写真、生け花、篆刻、活動報告
・発表…フラダンス、歌
・模擬 めだかすくい(小学生以下、ビニール袋持参、無くなり次第終了)
- ◆12月5日(日)午前10時～午後3時
・展示、模擬店(19日と同じ、展示のみ午前9時から)
・発表…篠笛演奏、ウクレレ演奏、クラシック・アンサンブル読み聞かせ

《特別イベント》




「トリオで楽しむ音楽の世界
～クラシック・ポップス・映画音楽～」

と き 12月4日(土)午前10時～正午
と ころ 公民館本館 学習室B
出 演 ウッドフィッシュ
定 員 30人(当日先着順) 参加費 無料
問合せ先 公民館本館(☎042-383-1184)



可燃ごみ施設見学の様子

◆小金井市各公民館 Twitterアカウント・問合せ一覧◆

小金井市公民館	公民館貫井南分館	公民館緑分館	公民館東分館	公民館貫井北分館
本町2-15-11 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	貫井南町4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	緑町3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300	東町1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	貫井北町1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402
本館・貫井南分館・緑分館共通アカウント 小金井市公民館 @koganei_koumink			 小金井市東センター @npo_higashi	 公民館 貫井北分館 @cc_nukuikita

成人学校 開催報告

「中央線沿線の文学講座」

実施 9月2日・9日・16日・30日 緑分館

元三鷹市山本有三記念館館長の矢野勝巳さんを講師にお招きし、文学者たちが描いた中央線沿線の風景や作家と沿線地域との関係性をたどることにより、文学作品を読む新たな楽しみを見つけ、さらに、地域の魅力を再発見しました。

1回目は、「文学の中の風景と中野から荻窪周辺までの文学風景」と題して、落合恵子「夏草の女たち」、五木寛之「風に吹かれて」、太宰治「斜陽」、ねじめ正一「高円寺純情商店街」、大江健三郎「河馬に噛まれる」などの作品を紹介しました。

2回目は、「吉祥寺から三鷹周辺までの文学風景」と題して、山本有三「生きとし生けるもの」、黒井千次「春の道標」、角田光代「八日目の蝉」、瀬戸内寂聴「場所」、又吉直樹「火花」などの作品を紹介しました。

3回目は、「武蔵小金井から国分寺周辺までの文学風景」と題して、大岡昇平の「武蔵野夫人」、黒井千次の「眼の中の町」、上林暁の「聖ヨハネ病院にて」、高村薫の「我らが少女A」、椎名誠「さらば国分寺書店のオババ」、村上春樹「夜のくもぎる」などの作品を紹介しました。

4回目は、「国立から八王子周辺までの文学風景」と題して、嵐山光三郎「夕焼け学校」、山口瞳「居酒屋兆治」、辻井喬「彷徨の季節の中で」、赤川次郎「死者の学園祭」、松本清張「ゼロの焦点」などの作品を紹介しました。

全4回とも参加者は熱心に受講し、特に3回目は、武蔵小金井、野川、野川公園、「はげ」など身近な場所が取り上げられたこともあり、講師の先生の話に関心を持って耳を傾けていました。

●参加者の感想●

- 今回の講座を機にいろいろ作品の舞台を歩いてみたい、作品も読んでみたいと思いました。
- 中央線沿線を改めて見直しました。新たな気持ちで何か一冊読んでみたいと思います。
- 興味があつた分野でしたので大変良かったです。講師の先生の熱心な説明に感動しました。
- これから小説を読む上で中央線沿線の舞台になった場所を身近に感じ一冊でも多く手に取りたいと思いました。

第34回 東センターまつり報告

実施 10月2日(土)・3日(日)

台風一過の晴天に恵まれ、2日間ともさわやかな日差しの中でセンターまつりを開催することができました。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、残念ながらまつりは中止となりましたが、今年は最大限に注意しながら、皆さんの協力の下で2年ぶりに開催する運びとなりました。

参加団体は展示3団体（羊毛の作品、型染染の作品、子どもの図画工作）、発表が5団体（琉球舞踊、かつぽれ、インドネシア舞踊、ガムラン演奏、歌・三線）と例年と比較するとかなり小規模になりましたが、いずれのグループも日頃の成果を存分に発揮しました。

とはいえ、今年は公民館主催の特別イベントを開催できなかったことや、まつりを盛り上げる模擬店や洋菓子の販売中止、舞台部門の演技時間の短縮、展示部門では使用するパネル数を削減して3密を避けるなど例年に比べると、静かなおまつりとなりました。

そのような中でも、受付や消毒は参加団体が交代で行うなど、互いの助け合いの機会が増えたことは収穫でした。また入場前には検温や入館カードの記入など、観覧いただいた方々にも感染症対策にご協力いただき、無事にセンターまつりを運営することができたことは感謝しかありません。

最終日の終わりには、実行委員長の翁長良賢さんより「今年も互いの気配り、目配りが行き届いた集いとなりました。来年は参加団体の数も元に戻り、安全なセンターまつりが開催できるように皆で祈りましょう」という温かいスピーチをいただき、幕を閉じました。

